

コンテンツ構築実習「機関リポジトリと著作権. 実習」解説

東京工業大学 研究情報部 情報図書館課 電子図書館グループ

津久井 祐子

■問題 1～5 は、論文を機関リポジトリに登録することが可能か、出版社の方針を調査して回答して下さい。問題 6 は、機関リポジトリに登録することが可能か、可能であればどのような点に注意すべきか回答して下さい。

問題 1

M. Kiguchi, O. Tal, S. Wohlthat, F. Pauly, M. Krieger, D. Djukic, J.C. Cuevas, J.M. van Ruitenbeek

Highly conductive molecular junctions based on direct binding of benzene to platinum electrodes
Physical Review Letters, Vol. 101, p.046801, 2008.

American Physical Society (APS) の文献です。

① まず SHERPA/RoMEO を検索し概要を把握します。

- ・ author can archive pre-print (ie pre-refereeing)
- ・ author can archive post-print (ie final draft post-refereeing)
- ・ Link to publisher version required
- ・ Copyright notice required
- ・ Publisher's version/PDF can be used on author's or employers web site...

② ジャーナルサイトへ。

<http://prl.aps.org/>

→ (画面左) Authors の Copyright Policies をクリック。

→ Copyright Transfer Form をダウンロード。

検索結果の Publisher をクリックすると、学会や出版社のトップページへ遷移するぞ。ただトップページに著作権に関する規定がリンクされていることはあまりない。「Publications」や「Journals」等の見出しを手がかりに、出版に関するページを探してみよう。そこでも見つからなければ、もう一つ階層を下り、個々の雑誌のページにないか探してみよう。画面の左右に注目すると良いぞ。



③ Copyright Transfer Form の内容を確認します。

著者版・出版者版とも可 “(3) The right to use all or part of the Article, including the APS-prepared version without revision or modification, on the author(s)’ web homepage or employer’ s website …”

著作権表示の要求…(6)の下 “All copies … of the Article … shall include the appropriate bibliographic citation and notice of the APS copyright”

長い英文を読むのは大変なことよね。はじめにざっと” preprint” ” postprint” ” repository” 等の単語がないか確認をして、もしあればそのパラグラフから読み進めていくと気が楽よ。



海外の出版者では APS の他に, American Institute of Physics (AIP) や Institute of Electrical and Electronic Engineers (IEEE) も出版者版ファイルの使用を認めているぞ。



問題 2

Imai, Akio ; Nishimura, Etsuko ; Current, John

A Lagrangian relaxation-based heuristic for the vehicle routing with full container load
European Journal of Operational Research, 176(1), p. 87-105, 2007

Elsevier の出版物です。

① SHERPA/RoMEO で著者版が OK, 出版者版が NG であることを確認します。

- ・ subject to Restrictions below, author can archive pre-print (ie pre-refereeing)
 - Restrictions: This does not include Cell Press
- ・ author can archive post-print (ie final draft post-refereeing)
- ・ Publisher’s version/PDF cannot be used

② ジャーナルサイトへ。

http://www.elsevier.com/wps/find/journaldescription.cws_home/505543/description

→ (画面右) Authors Rights

③ What rights do I retain as an author? の内容を確認します。

“the right to post a pre-print version of the journal article on Internet web sites …”

“the right to post a revised personal version of the text of the final journal article (to reflect changes made in the peer review process) on the author’s personal or institutional web site or server, incorporating the complete citation and with a link to the Digital Object Identifier (DOI) of the article”

問題 3

加藤英之, 小林 隆志, 横田 治夫

OXTHAS: Web サービスベースのワークフロー管理における障害を考慮した負荷分散手法
電子情報通信学会論文誌. D, 情報・システム 91(4), 993- 1003, 2008/4

電子情報通信学会の文献です。

① まず SCPJ を検索し概要を把握します。

- ・ 権利表示を行うこと
- ・ 出典表示を行うこと
- ・ 出版社版へのリンクを表示すること
- ・ 掲載から半年経過後
- ・ IEICE Transactions Online トップページへのリンクを張ること
- ・ 会誌、大会講演論文集等についてはリンク、猶予期間ともに必要なし
- ・ 許諾番号を表示すること
- ・ 出版社版のみ可

② 学会サイトへ。

<http://www.ieice.org/jpn/>

→ (画面左) 機関誌と出版物

→ 著作権・特許証明書関係について

→ 著作権規定について

③ 利用申請基準の内容を確認します。

問題 4

三浦 彩子, 金子 晋也, 是永 美樹, 八木 幸二

都市における商業施設の公開スペースの構成

日本建築学会計画系論文集, 73(625), 573-578, 20080330

日本建築学会の文献です。CiNii の無料公開ファイルが使用可能です。1 年のエンバゴがあります。

① まず SCPJ を検索し概要を把握します。

- ・ 出典表示を行うこと
- ・ 刊行後 1 年以上
- ・ 学会事務局へ一報すること
- ・ 機関リポジトリに掲載する際は、次のメタデータを記述してください。
- ・ 出版社版のみ可

② 「機関リポジトリに搭載する際は…」をクリック。

③ 「NII-ELS コンテンツの機関リポジトリへの提供許諾条件一覧」をクリック。

「CiNii (NII 論文情報ナビゲータ) で無料一般公開をしている学協会誌について、各学協会に対して著者が所属する学術機関リポジトリへの本文コンテンツ複製収録の可否を確認しました」とあります。

「日本建築学会」は「その他の条件のある学協会誌」の中に含まれていて、雑誌ごとに「その他の条件」が記載されています。エンバーゴがあること、学会事務局へ一報という条件に注意しましょう。

SCPJ の検索結果で「機関リポジトリに搭載する際は、次のメタデータを記述してください。」とリンクされている場合は、CiNii の無料公開ファイルが使用できる可能性が高いぞ。「NII-ELS コンテンツの機関リポジトリへの提供許諾条件一覧」で、無料公開範囲や条件を確認しよう。使用の際はメタデータの「rights (権利)」「relation (他の資源との関係)」の記述を忘れてはならんぞ。



問題 5

E. Matsumura, S. Ooi, S. Murakami, S. Takenaka and K. Aoki
Constitutive Synthesis, Purification, and Characterization of Catechol 1,2-Dioxygenase from the Aniline-Assimilating Bacterium Rhodococcus sp. AN-22
Journal of Bioscience and Bioengineering, 98(2), p. 71-76, 2004.

日本生物工学会の文献です。SHERPA/RoMEO には情報がありませんが、SCPJ にはあります。

① SEHRPA/RoMEO を検索すると…ノーヒット。

② SCPJ で雑誌名から検索し概要を把握します。

③ 学会サイトで詳細を確認します。

Elsevier から出版されていることが判ります。

SCPJ では英文の学会名や略称からは検索できないの。「Society for Bioscience and Bioengineering」ではヒットしないから注意してね。



Elsevier ではプレプリントの使用も認めていたが、学会のサイトでは査読後の著者版原稿しか許可していないぞ。もしプレプリントを使用したいなら学会に問い合わせが必要だ。



問題 6

博士論文の登録を依頼された。この博士論文の幾つかの章は、それぞれ別の学術雑誌に掲載された論文である。

博士論文の登録においては、例えば次のような点に注意が必要です。

- ① 博士論文が個々の学術雑誌投稿論文を含んでないか。含む場合、共著者はいないか。
- ② 掲載誌のリポジトリ関連ポリシーはどうか。
- ③ 博士論文に含まれた投稿論文が著者版にあたるか。
- ④ 特許出願の予定があるか。

必ずしも全体を博士論文として登録する必要はなく、各論文単位で登録しておき、博士論文としてのメタデータから各論文へのリンクをつけるという考え方もできます。

学位論文の登録については、以下の DRF-ML のスレッドも参考になるぞ。

[drf:471] 医学系の博士論文の登録方法 について <http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drfl/ml/msg00465.html>

この他にも DRF Wiki (<http://drf.lib.hokudai.ac.jp>) には、海外出版者への問い合わせメールの雛形など、役に立つ情報が満載だから要チェックじゃ！



国立国会図書館による学位論文電子化プロジェクトの動向にも注目してね。これから学位論文の公開許諾を依頼する際は、国会図書館での公開についても併せて確認すると良いと思うわ。いずれ公開許諾書の統一フォーマットも公表されるそうよ。



受講生の皆様へ

現在 SCPJ には 1,800 件を超える日本の学会が登録されていますが、その多くのポリシーは Gray (検討中・非公開・無回答・その他) となっています。

もし皆さんが Gray の学会へ公開可否を問い合わせた結果、判明した事項がありましたら、ぜひ scpj@tulips.tsukuba.ac.jp へご一報ください！